

# おさらぎじろう 大佛次郎没後 40 年 命日は特別開館

4/19～7/15 特別展「没後 40 年・大佛次郎と神奈川 未来へのメッセージ」

横浜をこよなく愛した作家、大佛次郎(おさらぎじろう)。当館では、その業績と生涯を約 7 万点の収蔵資料から折々に紹介しています。

2013 年は没後 40 年にあたり、4 月 19 日(金)開幕の特別展を始め、12 月まで数々の記念事業を開催します。なお、大佛次郎命日である 4 月 30 日(火)は、祝日(月曜)の翌日にあたり通常は休館日ですが、特別に開館します。

## 特別展 没後 40 年・大佛次郎と神奈川 —未来へのメッセージ—

**横浜で生まれ鎌倉で長年暮らした大佛次郎  
郷土を愛し、歴史をひもとき、広い視野に立ち筆を執った作品の数々  
地域の絆を求める今だからこそ、輝くメッセージ**

「鞍馬天狗」から「天皇の世紀」まで幅広い作品で知られる小説家大佛次郎は、横浜で生まれ鎌倉に暮らし、関東大震災と戦争を経験し、高度経済成長の時代を生きました。

遺された言葉からうかがえるのは、様々な局面に立ち向かう姿勢です。郷土を愛し、歴史をひもとき、広い視野に立ち筆を執った作品の数々は、読者に勇気と希望を与えます。

困難な時代、地域の絆を求める今だからこそ、大佛のメッセージが輝きます。展示では、挿画や自筆原稿、書簡などの資料で大佛次郎と神奈川のかかわりをたどりながら、その先見性を紹介します。

主な展示資料: 自筆原稿「多彩な県史を」(初出品)、「義経の周囲」挿絵(安田鞞彦、小倉遊亀ほか)、表紙絵・絵物語原画(鍋木清方「たけくらべ」「日本橋」)、大佛旧蔵絵画(五姓田義松「江ノ島」)、横浜開港期資料(ビゴ一銅版画集、古地図ほか)

会 期 : 4 月 19 日 (金) ~ 7 月 15 日 (月・祝)

休館日 : 月曜日 (祝休日の場合は翌平日)

大佛次郎命日である 4 月 30 日(火)は、特別開館

観覧料: おとな 200 円(150 円)、小中学生 100 円(80 円)

( )内は 20 名以上の団体料金/毎月第 2・第 4 土曜は高校生以下無料/市内在住 65 歳以上の方は無料

このほかの記念事業は別紙をご参照ください。



「いつも神奈川県は、全国に魁けて時代の開花を示す活発な土地と変化した。」  
(エッセイ「多彩な県史を」より)

### メディア向け撮影会

観覧会初日の会場撮影や来場者インタビューを受付けます。

日時 4 月 19 日(金)  
16 時~17 時 30 分

会場 大佛次郎記念館

### お問い合わせ先

大佛次郎記念館 館長 沼尾 実

担当: 副館長 福富潤子 Tel 045-622-5002

〒231-0862 中区山手町113 <http://osaragi.yafjp.org/> <http://osaragi.exblog.jp/>